

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2025年第15号

2025年第15週(4月7日~4月13日), 月報3月

◆◆注目すべき感染症の動向◆◆

ー急性呼吸器感染症：令和7年4月7日からサーベイランス開始ー

急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

令和7年4月7日より、新たにARIサーベイランスが開始されました。本サーベイランスは、流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、新興・再興感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知することを目的としています。週単位で「咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁(びじゅう)、鼻閉(びへい)のいずれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例」数を集計していきます。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は35.73人でした。

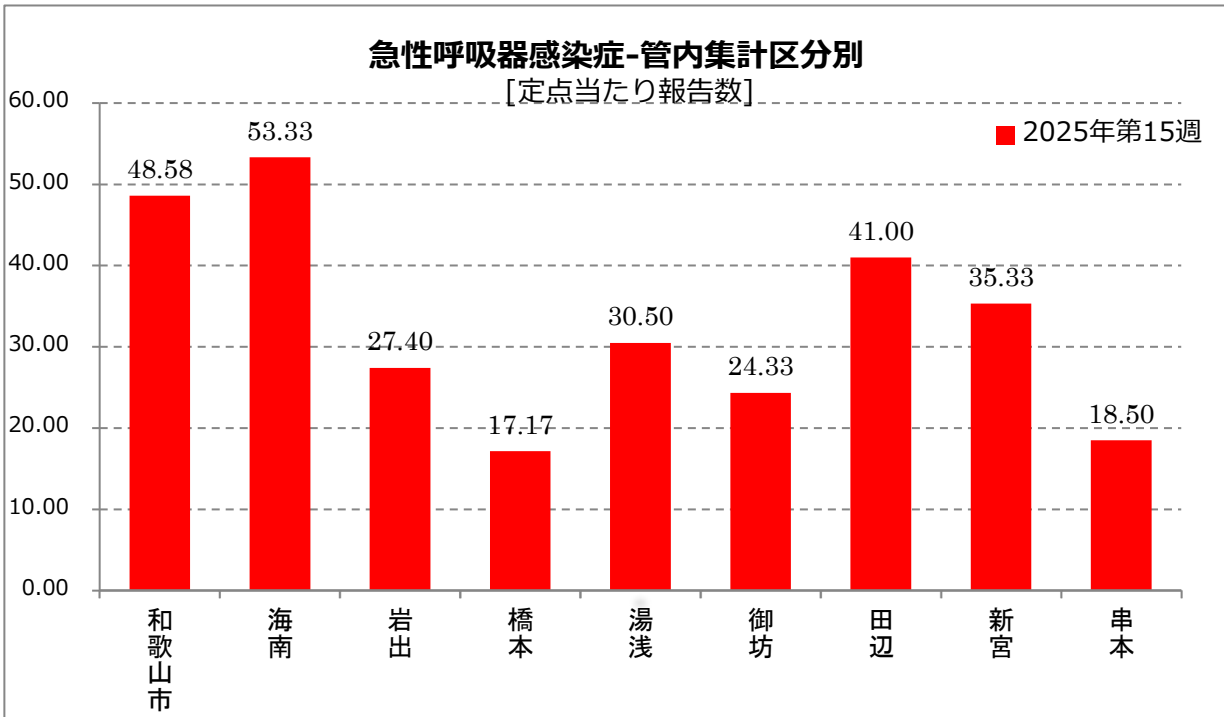
保健所別にみると、海南保健所管内が53.33人と最も多くなっています。

全国の定点当たり患者報告数は49.38人でした。

急性呼吸器感染症についてはこちら：(厚生労働省ホームページ)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ari.html>

詳細については、保健所別の患者報告数(和歌山県)参照



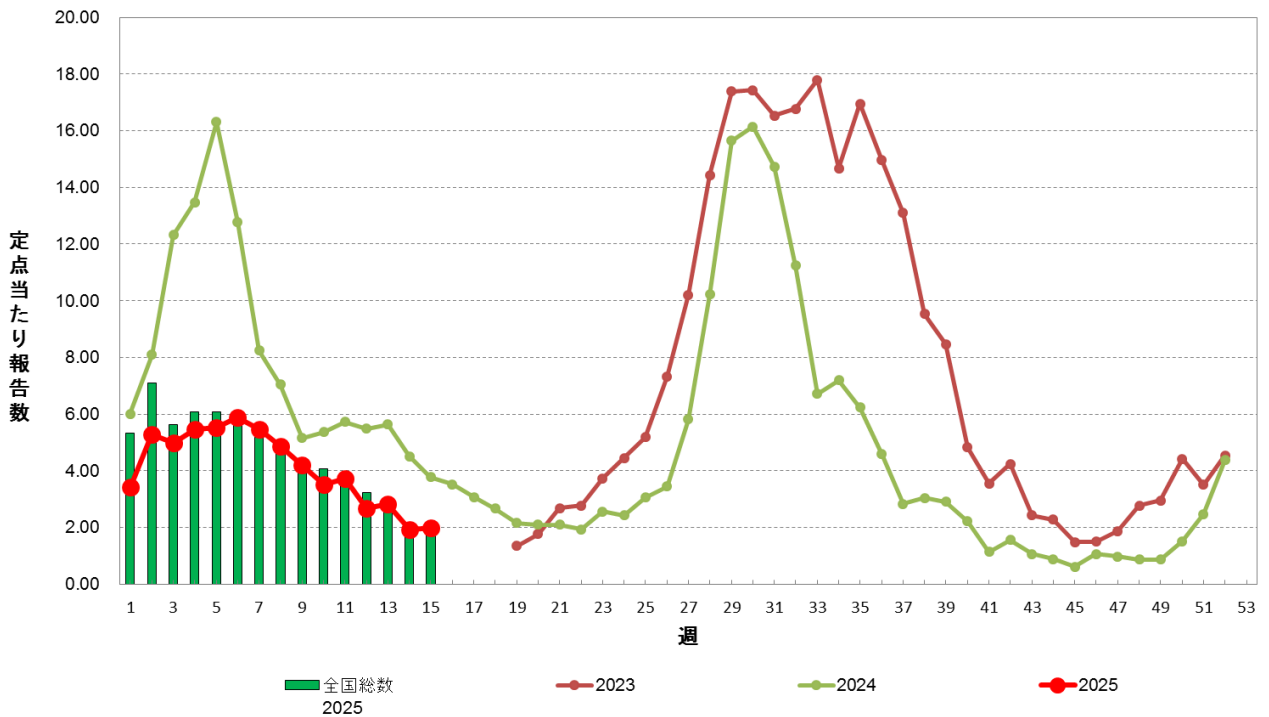
ー新型コロナウイルス感染症：県全体の患者報告数は増加ー

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は2.00人（前週：1.92人）と増加しました。保健所別にみると、海南保健所管内が6.33人（前週：5.67人）と最も多くなっています。全国の定点当たり患者報告数は、2.10人（前週：2.15人）と減少しています。

感染対策としては、手洗いや手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着脱などが有効です。

新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省HP)：

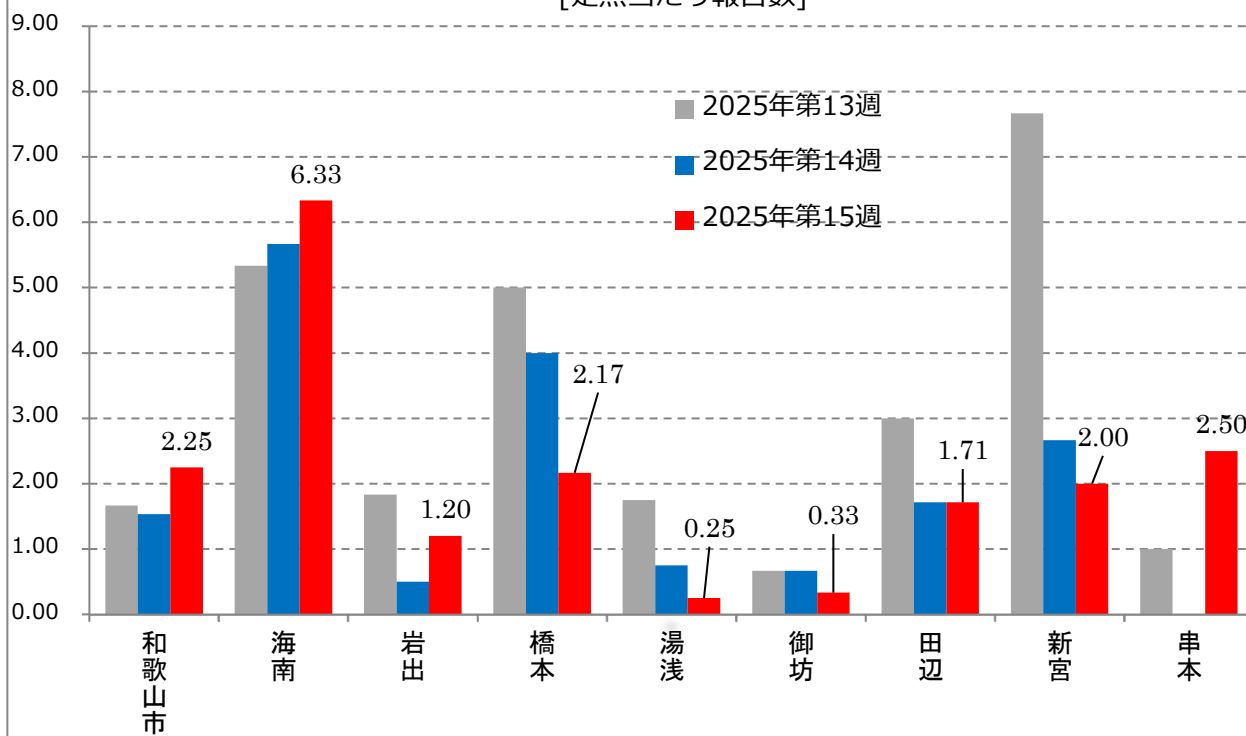
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



COVID-19(和歌山県)

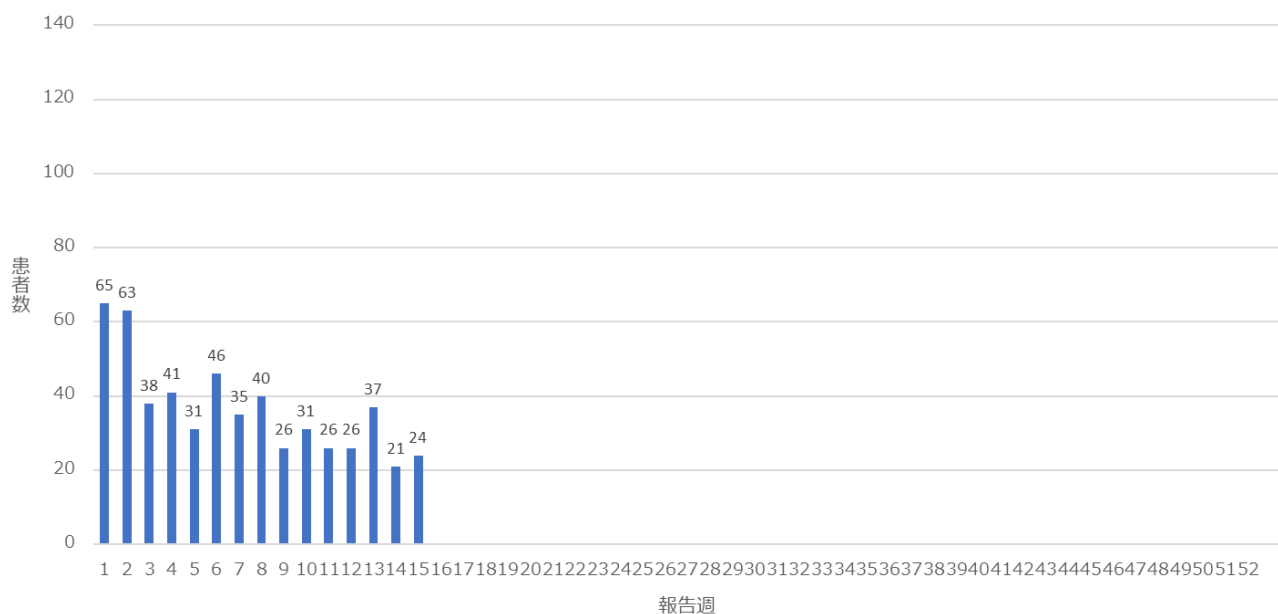
COVID-19-管内集計区分別

[定点当たり報告数]



・新規入院患者推移

基幹定点医療機関（11か所）における新規入院患者数



ーインフルエンザ：県全体の患者報告数は減少ー

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。

和歌山県全体定点当たり患者報告数は1.11人（前週：1.13人）と減少しました。

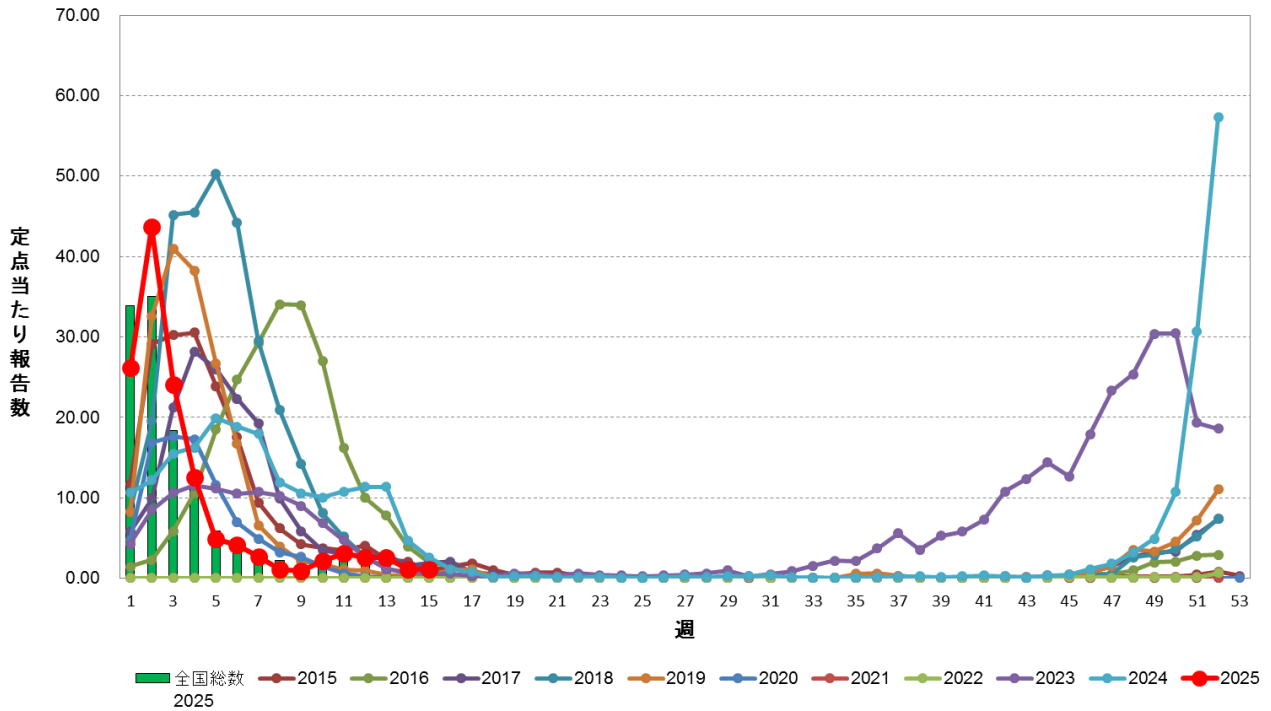
保健所別では、湯浅保健所管内が5.75人（前週：0.75人）と最も多くなっています。

全国の定点当たり患者報告数も、1.19人（前週：1.20人）と減少しています。

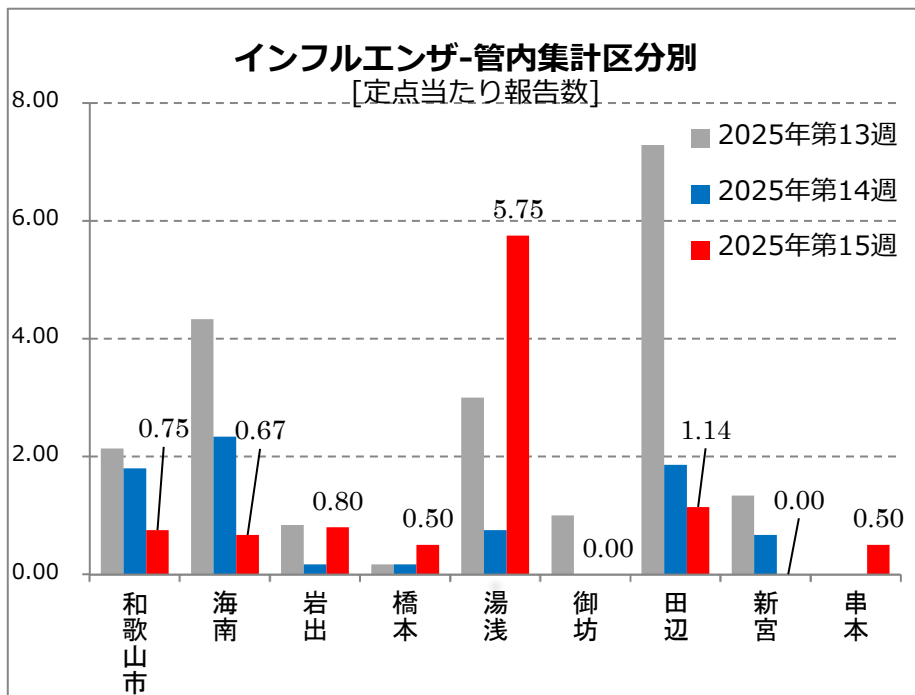
手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケット、ワクチン接種等を心がけてください。

インフルエンザに関するQ&A（令和6年度版）はこちら：厚生労働省HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleenza/QA2024.html



インフルエンザ(和歌山県)



一感染性胃腸炎：県全体の患者報告数は増加一

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルス等が主な原因です。

和歌山県全体の定点当たり患者報告数は6.93人（前週：5.59人）と増加しました。

保健所別にみると、新宮保健所管内11.00人（前週：8.00人）と最も多くなっています。

全国の定点当たり患者報告数も、8.26人（前週：6.42人）と増加しました。

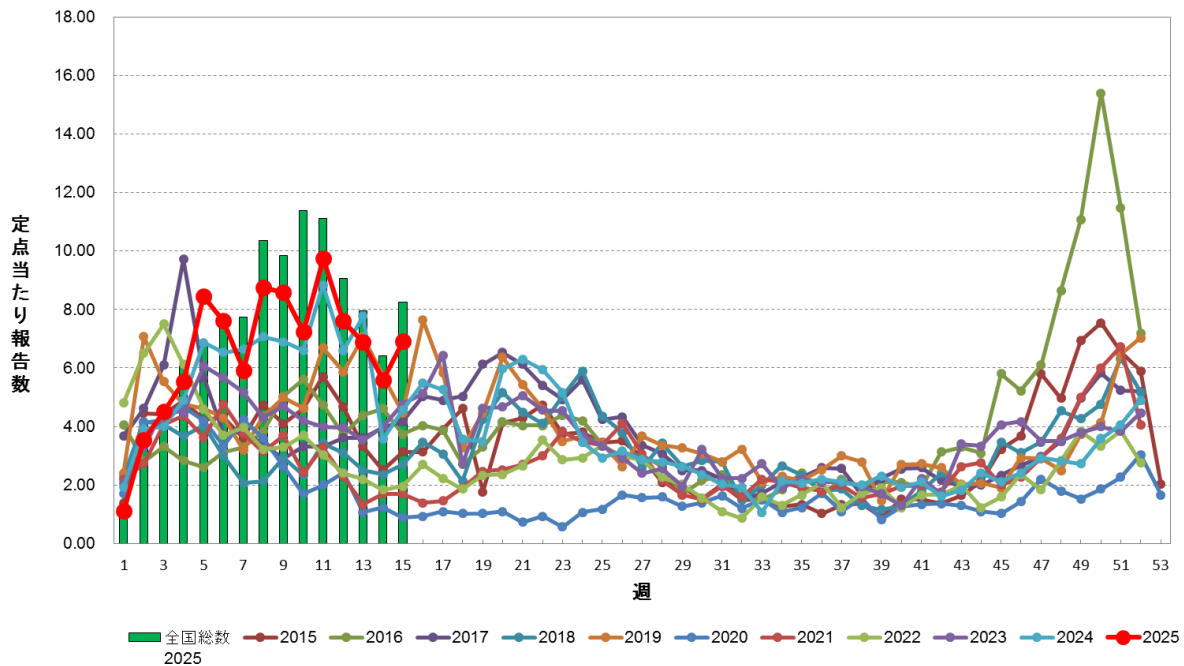
ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)

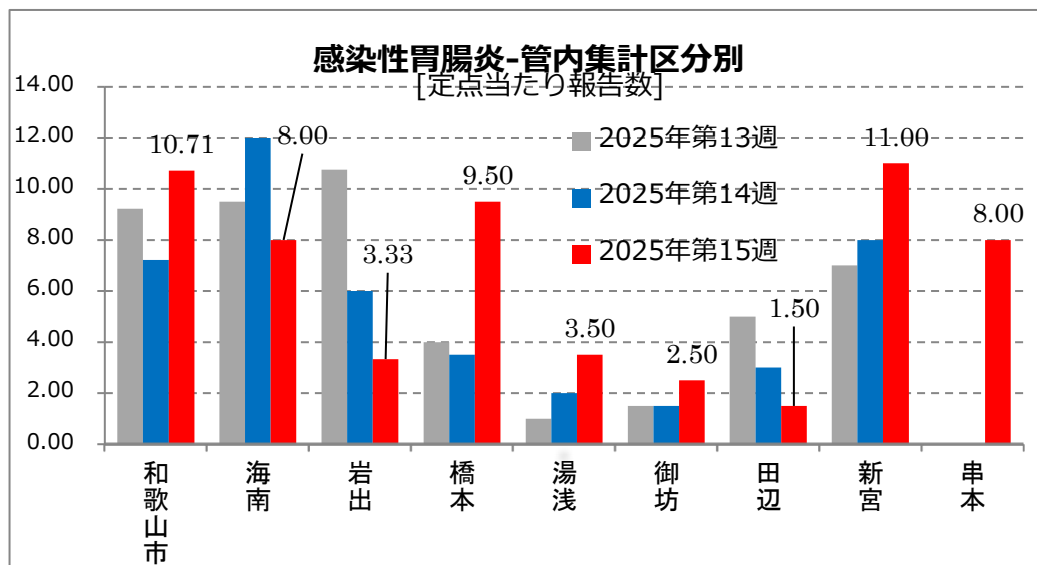
(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>)

ノロウイルス等検出状況 2023/24シーズン(随時更新) (国立感染症研究所HP)

(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>)



感染性胃腸炎(和歌山県)



定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 2 名
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 名
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：百日咳 18 名

(2) 第 1 週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	34
腸管出血性大腸菌感染症	2
レジオネラ症	1
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4
急性脳炎	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
侵襲性肺炎球菌感染症	10
水痘（入院例）	1
梅毒	10
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
百日咳	67

◆◆ 5 類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

伝染性紅斑：海南保健所、急性出血性結膜炎：田辺保健所

注意報レベル

水痘：湯浅保健所及び新宮保健所

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	9	2	4	3	23	-	8	-	1
	定当	0.75	0.67	0.8	0.5	5.75	-	1.14	-	0.5
RSウイルス感染症	報告	5	1	-	4	-	1	2	-	-
	定当	0.71	0.5	-	1	-	0.5	0.5	-	-
咽頭結膜熱	報告	-	1	2	-	-	-	-	-	-
	定当	-	0.5	0.67	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	10	1	1	-	2	-	7	1	2
	定当	1.43	0.5	0.33	-	1	-	1.75	0.5	2
感染性胃腸炎	報告	75	16	10	38	7	5	6	22	8
	定当	10.71	8	3.33	9.5	3.5	2.5	1.5	11	8
水痘	報告	4	1	-	2	3	-	-	3	-
	定当	0.57	0.5	-	0.5	1.5	-	-	1.5	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	8	7	2	1	-	-	-	-	-
	定当	1.14	3.5	0.67	0.25	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	2	1	2	-	-	1	1	1	-
	定当	0.29	0.5	0.67	-	-	0.5	0.25	0.5	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	1	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
COVID-19	報告	27	19	6	13	1	1	12	6	5
	定当	2.25	6.33	1.2	2.17	0.25	0.33	1.71	2	2.5
急性呼吸器感染症	報告	583	160	137	103	122	73	287	106	37
	定当	48.58	53.33	27.40	17.17	30.50	24.33	41.00	35.33	18.50

<院内感染症の動向>

3月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が最も多く報告されており、2.09人(先月：2.18人)となっています。患者報告数が最も多い年齢階級層は70歳以上で、全体の約82.6%を占めています。

【3月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	19
	定当	2.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	0.09	0.18	1.73
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症報告 (WIDR) 2025 年第 15 号

発行日：令和7年4月18日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/idsw/d00153659.html>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部福祉保健政策局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。